

フィルムになった風景

vol.3

数多くの映画の舞台となっている 「旧門司食糧倉庫」

丸2日市街地を全面封鎖して撮影された 「旧戸畑区役所」

北九州市の“エース物件” 旧門司食糧倉庫

北九州市

日本で初めてフィルム・コミッション組織を立ち上げ、メインストリートでの駅伝シーンの撮影や空港での国内初の本格的なハイジャックシーンの撮影、街全体を終日封鎖しての撮影等、次々と派手なロケを成立させてきた北九州市。その北九州で“エース物件”といわれるのが、この旧農林水産省福岡食糧事務所門司政府倉庫（以下「食糧倉庫」と略）です。

食糧倉庫は、米穀法に基づき1928年に政府買入米の長期備蓄倉庫として建設され、10棟・床面積約1万㎡に及ぶ大規模な倉庫群です。現在は使われていませんが、レンガ色の切妻屋根と白いタイル壁の倉庫が立ち並ぶ光景は当時の面影のままで、歳月を経た味のある重厚な建物と外部から取り残されたよ

うな静謐さに満ちた空間は、ロケに訪れる映画関係者を魅了してやみません。

三谷幸喜監督のオリジナル・ノンストップコメディ『ザ・マジックアワー』では、架空の港町・^{すかこ}守加護の倉庫街という設定で、伝説の殺し屋「デラ富樫」を演じる売れない俳優・村田大樹と本物のデラ富樫が撃ち合いを演じるシーンが撮影されました。設置された看板が弾着で弾けたり、車が爆破されるなど、クライマックスを飾るにふさわしい派手な撮影となりました。



『ザ・マジックアワー』では倉庫脇で車の炎上シーンを撮影

また、海猿シリーズの羽住英一郎監督の『おっぱいバレー』

は、新任女性教師の顧問のおっぱいが見たい一心で部員たちが練習に打ち込み、別人のように強くなっていくという、北九州を舞台にした青春エンターテインメントの傑作ですが、部員たちが集まるアジトとして撮影されました。1979年の設定で撮影され、レトロな倉庫と古いオート三輪があいまって懐かしい昭和を感じさせる映像になっています。

このほか、『サッドヴァケーション』『初恋』等、様々な作品の舞台として撮影されています。

一方、旧戸畑区役所は、1933年に旧戸畑市が市役所として建設した庁舎です。昭和初期に流行した「帝冠様式」という、和洋折衷の独特な様式となっており、当時流行した赤いタイル張りの外壁と白い軒・窓枠とのコントラストが映える昭和初期の面影を残す重厚な建物です。

この旧戸畑区役所の前面道路および交差点を完全封鎖して撮影を行ったのが、望月三起也原作のアクション漫画を映画化した羽住英一郎監督の『ワイルド7』です。前面道路や交差点を丸2日封鎖し、銀行を襲撃した強盗たちが警察の包囲を突破して逃走するシーンの撮影を行いました。

ここでの撮影は、過去何本も北九州で撮影し北九州を熟知する羽住監督から、ぜひ旧戸畑区役所を使いたいという要望を受け、それに応えたのですが、戸畑の市街中心部だったため、路線バスを2日間計500本も迂回していただくなど、市民の皆様の多大なご協力を得て、ようやく撮影に漕ぎ着けることができました。



『ワイルド7』では丸2日市街中心部を全面封鎖して撮影

また、電器メーカーの技術者が老人にロボットを演じさせてしまうという痛快ドタバタ・コメディ『ロボジー』では、老人が入ることになるロボット「ニュー潮風号」の研究開発室として撮影されています。

今回ご紹介しきれなかった映画の舞台が、北九州にはたくさんあります。ぜひ一度、「映画の街」北九州へお越しください。

（執筆／北九州フィルム・コミッション 坂上秀之）

◆映画『ザ・マジックアワー』2008年6月公開

監督：三谷幸喜

出演：佐藤浩市、妻夫木聡、深津絵里、西田敏行ほか

◆映画『おっぱいバレー』2009年4月公開

監督：羽住英一郎

出演：綾瀬はるか、仲村トオル、青木崇高ほか

◆映画『ワイルド7』2011年12月公開

監督：羽住英一郎

出演：瑛太、椎名桔平、深田恭子、中井貴一ほか

◆映画『ロボジー』2012年1月公開

監督：矢口史靖

出演：ミッキー・カーチス、吉高由里子、濱田岳ほか